

わかば

98号

異常気象の夏が過ぎて

ワカバ会会長 三輪田 真 (三田22-6)



今年の夏は全国的に異常気象に見舞われました。西日本を中心に記録的な豪雨、洪水や土砂災害が多発しました。また全国的にも過去に例がないほど高温の日が長く続き、各地で熱中症警戒アラートが連日のように出されました。皆様も何とか夏を乗り切られたことと思います。この異常気象は地球温暖化が一因とも言われていますが、人類のエネルギー消費量増加も関係しているので、この傾向は今後も続きそうです。エネルギー消費の大きい諸国が対策に本腰を入れていない現状もあるので、この地球規模の課題解決に向けて、日本の誇る省エネルギー技術に期待したいと思います。

さてワカバ会では今年度の総会を5月18日に母校で開催することができました。ホームカミングは卒業後70年の7回から、この春母校を巣立った77回まで、70年にわたる幅広い年齢層の同窓生が集まりました。一昨年までの4年間はコロナ禍のため集まることができなかったことを思うと、母校で同窓生の皆様にお会いできて良かったと思います。今年はワカバ会設立から97年になります。3年後の100周年に向けて祝賀行事や記念誌の企画の検討を進めております。これらの事業では、会員の皆様に参加いただくこともあると思いますので、ご協力いただければ幸いです。

見学会や観劇などの企画行事については、例年同様に多彩に開催しているところです。現役の生徒を支援する奨学金制度についても、経済的に厳しい生徒を援助する丸山記念奨学金と、夢を追う学生や部活の支援などを行う桂葉奨学金の二本立てで継続しております。

ワカバ会ではこれまで同様に皆様の交流の輪を広げる活動を展開してまいりますので、引続きご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

人は人と出会うことで成長する

ワカバ会名誉会長・三田高等学校長 内田 隆志



ワカバ会の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。本年度も9月6日7日と本校の文化祭である白珠祭で多くの来場者を迎え、ワカバ会の皆様のご協力も得ながら、無事実施することができました。

太平洋高気圧の影響で今年の猛暑は例年になく厳しいものでした。10月になっても気温が25℃を超える日があり、本校の部活動や教育活動においても、様々な工夫をしながら実施しているところであります。現在の校舎も築48年を迎えており、空調や水回りなどの様々な不具合が生じつつ、修繕や調整をしながら使用しております。今年の夏休みには、校舎を少しでもきれいにしたいという生徒の有志を募り、生徒・企画室・教員によりペンキで教室の扉をさわやかなターコイズブルーに塗装しました。港区白金に計画されている第2国際高校はまだ具体的に建設が進んでいませんが、私案ではありますが早めに校舎建築を進めていただき、本校が一時的に借用し、本校改築後戻るといようなアイデアは、都の財政負担を軽減し、伝統と実績ある本校の将来をより明るいものにする上でも良いのではと思ったりしております。

さて、コロナ禍の影響で長らく行うことができなかった海外修学旅行を本年度台湾で再開することができました。10月29日から11月1日にかけて3泊4日の日程で台北の交流先である大安高級工業職業学校の訪問や故宮博物院の見学などを実施します。ユネスコスクール、海外学校間交流推進校として、そしてGE-NET20指定校として国際交流を実施することは単に異文化に触れるだけでなく、多くの多様性を理解し、自身や日本の文化について再発見する良い機会になると考えております。人はかけがいの無いものであり、校内でも多様性のある三田高生の皆が可能性に満ちている存在であることは間違いの無いことですが、ともすると最近の世界や日本の風潮に流され、内にこもってしまいがちとなる場面も見られます。国際人として、他者を尊重し、理解することにより自己を知り成長していくことが今まさに必要な時代を迎えていると考えます。新しいことにチャレンジし続けるイノベーターとして、人と人、物とものをつなぐコーディネーターとして本校の生徒には成長を続けて欲しいと思いますし、ワカバ会の皆様にはぜひ引き続き後輩を温かい目で見守っていただきたいと思います。今後とも御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

2026年度総会のお知らせ

来年度も対面で総会・懇親会を開催する予定です。

ホームカミング該当年の方には後日ご案内を送付いたします。詳しくは春号でお知らせします。

ホームカミング該当学年

第六高女全学年、三田8回生(1956年卒)、三田18回生(1966年卒)、三田28回生(1976年卒)、三田38回生(1986年卒)、三田48回生(1996年卒)、三田58回生(2006年卒)、三田68回生(2016年卒)



三輪田会長



Young Leaves



懇親会司会の吉寄理事

2025年度一般社団法人ワカバ会総会報告 副会長 平山孔嗣(三田29-2)

2025年度総会は、5月18日に通常年に戻り2回目の対面総会を招集したところ、ホームカミングの皆様140名を含め出席者180名のご出席を賜り、粛々と開催されました。場所は音楽講堂にて懇親会形式のテーブルのもとで、卒業生合唱団ヤングリープスを迎え、新旧校歌斉唱から始まる恒例のワカバ会総会になりました。

会長挨拶、名誉会長(校長)挨拶に続き、議事に入り、事業報告、決算、次期役員選任など慎重審議の上、会員の皆様のご協力により、議案は賛成多数にて承認可決されました。

引き続き懇親会に入り、ヤングリープス再びの登場で盛り上がったのち、名誉会長のご発声で乾杯の後、懇談になりました。出席会員の近況報告や恒例行事である福引も大いに盛り上がり、大先輩から新卒業生までの笑顔が見られました。

昨年と同様のケータリング会社で前年の反省をもとに改善された料理が提供され、事務局の頑張りとともに何とか出席者の皆様に喜んでいただけたのではないかと思います。

今年度は秋から企画行事が盛りだくさんでかつてのにぎわいを取り戻しつつあります。会員の皆様にはご自愛され、来年も笑顔で集うことができますようご祈念申し上げます。

ワカバ会役員紹介

2025年度総会にて下記理事、監事が承認されました。

ワカバ会は理事15名、監事2名で運営しています。

会長	三輪田 真	(22-6)		
副会長	西上原 節子	(24-5)	平山 孔嗣	(29-2)
理事(再任)	内堀 りえ子	(24-1)	小針 淳	(40-3)
	上田 みつ子	(28-5)	諏訪 貴子	(42-7)
	青山 真司	(30-3)	志田 雄啓	(46-1)
	田中 浩	(32-5)	鈴木 俊	(47-3)
	嶺 直利	(35-3)	吉寄 文保	(58-6)
	市来 陽一郎	(39-4)	采澤 あさひ	(58-7)
監事(再任)	篠川 徹太郎	(34-8)	加藤 正憲	(41-2)

総会に参加して

旧職員 近藤 聡

元教員の近藤聡です。平成17(2005)年4月～平成23(2011)年3月に、国語科に在職していました(58～65回生が在籍)。

総会に、久々に出席しました。懐かしく感慨がありました。

全参加者180名が音楽講堂に会し、まさに盛会。三輪田会長、内田学校長のスピーチは、三田高とワカバ会の輝かしい未来を描くものでした。総会の議事は粛々と進み、総会後の懇親パーティーは、打って変わって楽しさ満載。特に、58回生の吉寄理事の進行が鮮やかで、感銘を受けました。また、Young Leavesのコラスでは、担任をした学年の62回生もメンバーにいて、“OH!”という感じでした。

来年のホームカミング学年には、着任時の58回生も該当します。ぜひ、多くの人と再会したいですね。吉寄理事のパーティー進行で、一段と盛り上がれると確信しております!

総会に参加して

三田77-7 田邊真温

今回、三田高校77回生として2025年度ワカバ会総会・懇親会に参加させていただきました。このような形で三田高校に来るのは初めてのことであり、かつ受付も担当させていただいたのでかなり緊張しましたが、ワカバ会は非常に優しく和やかな雰囲気であり楽しむことができました。また、受付の待機時間等で数十年前の先輩方と現在の三田高校について話し合う機会があり、非常に良い経験になりました。

三田高校を卒業してからまだ2ヶ月程度しか経っていませんが、あの頃の同級生と近況を報告したり食事をしたりすることで懐かしい気持ちになりました。私たちの周りには60,70年前の三田高校卒業生の方々もいて、この高校の歴史を強く感じました。

約10年後にこのような機会をまた設けていただくということで、大学を卒業して社会人になった状態で再び三田高校に集まるのが楽しみです。

行事案内

春号でお伝えできなかった浅草歌舞伎の情報と
緊急追加の宝塚公演のお知らせです。

第39回ワカバ会観劇会 新春浅草歌舞伎

申し込み
受付中

日時 2026年1月16日(金) 11時開演

場所 浅草公会堂

料金 一等席8,600円
(お弁当・お茶付)
(通常10,830円)

人数 50名

締切 2025年
11月20日(木)

演目 未定



★第41回ワカバ会観劇会 東京宝塚劇場 雪組公演(※抽選)

日時 2026年2月13日(金)

13時30分開演

場所 東京宝塚劇場(日比谷)

料金 S席指定 11,000円(税込)

人数 50名

演目 ミュージカル・ロマン

『ボー・ブランメル
～美しすぎた男～』

プレジャー・ステージ

『Prayer～祈り～』

緊急追加!



©宝塚歌劇

宝塚公演の申し込み方法

毎回宝塚公演は大人気で、申込開始と同時に定員に達してしまうこともあり、ご希望の皆様には大変ご迷惑をおかけしております。

今回は公平を期すために**先着順ではなく、抽選といたします**。下記要領でお申込みください。

抽選申込期間: 会報(98号)到着時より2025年11月16日(日)23:59着信分まで

申込方法: ワカバ会事務局までTEL, FAX, E-mail にて

枚数制限: お一人様2枚まで

ワカバ会事務局で抽選後、11月20日に郵送にて当落の結果を発送いたします。

行事に参加して

第7回ちよだ芸術祭グランドフィナーレ

三田26-4 杉本賢司

今年も46回生の志田理事が芸術監督を務める音楽会の第九合唱団に参加しました。ワカバ会会員では私を含めて5名がステージに上がり合唱団としては総勢102名の演奏でした。私は、2回目の参加ですが、昨年のバスパートとは異なるテノールパートで参戦し、脳天を突き抜けるような高音と苦闘しました。

当日は、天候も良く神田共立講堂の1階がほぼ満席となる盛況でした。プロの出演者による演奏や児童合唱団の演奏があり、室内楽と合唱によるベートーヴェンの第九でフィナーレを飾ります。最後は出演者全員で「遠き山に日は落ちて」を歌って名残惜しい終演。

ワカバ会の繋がりのおかげでこのような素晴らしいステージ体験ができて満足感いっぱいでした。私に言わせれば第九は体力測定であり、歌うと元気が出ます。ワカバ会の皆様も来年はぜひ一緒にステージに立って、この幸せを分かち合いましょう。



(2025年2月23日実施)

本物のお芝居は面白いね!

三田43-3 矢野良和

いつものように耳かきほじほじしながら恍惚とした表情でワカバ会報を眺めていた。すると、「劇団四季」の文字が目飛び込んで来た。そう言えば、今お付き合いしている女性(年上結構ステキ♡)が劇団四季好きだと言っていた。よし、誘ってみよう。

聞けば、今回のアラジンは観た事がないとの返事。よっしゃ、申し込むぞ!と意気込んで受付開始初日の一番にメール送信!

そして、当日、新橋駅で待ち合わせをして、ルンルンで会場入り。ジーニー役の俳優のコミカルな演技に魅入ってしまい、隣に座っている彼女の手を握るのを忘れてしまった。ゴメンナサイ。帰りは新橋駅前の居酒屋で彼女と美味しいお酒が飲めました。そんな彼女がひと言。「今度、劇団四季のゴースト&レディが観たいな」ワカバ会さん、宜しく!次回も。



(C)Disney_撮影:荒井健

(2025年3月29日実施)

第22回同窓会ギャラリー

9月9日から9月16日まで開催予定としておりました同窓会ギャラリーですが、都合により9月16日から9月25日までに期間を変更し、ホームページ上で開催しました。出展してくださった同窓生の皆様、ご覧いただいた皆様ありがとうございました。ワカバ会ホームページ「トップページ」⇒「企画行事」⇒「第22回同窓会ギャラリー」よりアーカイブで閲覧いただけます。会報で紹介できなかった作品もご覧いただけます。

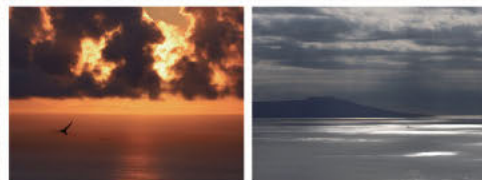
敬称略・順不同



三田19回生 中川（川北）未知子
水墨画
「鵜戸神宮」（20号）



三田12回生 鈴木 茂晴
デジタルアート
左「笑顔と穏やかな心...笑う門には福来る！」
右「待つ間に次のイメージはと、何にしようかな」
A4



三田25回生 影井 良貴
写真
左「海と舟 朝日は紅く...」
右「海と舟 上空には雲が...」
A4



三田28回生 前田（中嶋）乃扶子
日本画
「ジャスミン」
H652×W530



三田16回生 田原 和男
水彩画
「上野公園の午後のひと時」
W355mm×H270



三田16回生 町野 重光
水彩画
左「上野公園にて」
右「九品仏」
W355mm×H270mm



三田28回生 引間（和田）幸子
フラワーアレンジメント



三田19回生 片山（中山）優子
着物リメイク
「ワンピース」



三田28回生 遠山（波田野）順子
墨絵・書
左「弱気な鬼百合」
右「座右の銘」



三田39回生 瀧澤（小島）直美
カルトナージュ
「Cartonage Halloween」



三田26回生 加藤（高坂）行子
クロスステッチ刺繍
「お雛様」
H37cm×W29cm



三田42回生 児玉 章子
書
「木簡の臨書」
H145cm×W45cm



三田26回生 田澤（吉村）恵子
シャドウボックス
「朝の散歩」
(W105cm×H80.3cm×D10cm)



三田74回生 内海 楓
パッケージデザイン
「コメック」



三田32回生 小幡（平田）則子
シャドウボックス
「ひまわり林で涼む」
(W50cm×H52cm×D7cm)

行事に参加して

宝塚歌劇星組公演 「阿修羅城の瞳」「エスペラント!」心に残る観劇でした

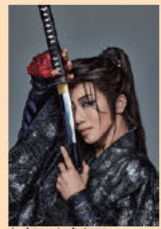
三田57-2 K.K.

礼真琴さんが好きな母とこの演目を見たくチケット獲得に奔走し惨敗していた折、ワカバ会観劇会の知らせを見てありがたく参加しました。

「阿修羅城の瞳」は鬼が出る江戸の街が舞台。着流しを来て飄々と佇む主人公・病葉出門のかっこいいこと。殺陣の動きが早いうえ、その後歌う際に声がぶれないという驚異的な技術に驚きながら、物語の世界にどっぷり浸ることができました。

ショー「エスペラント!」はあらゆる色彩に溢れたショーで、聞くとところによると衣装には地球の鮮やかな色彩を取り入れているとのこと。特に冒頭の衣装は淡いグラデーションが美しく、帰り道の夕焼けがちょうど衣装の色とそっくりだったので思わず写真に収めるなど観劇後にも余韻が残る、思い出深い演目となりました。

(2025年7月18日実施)



©宝塚歌劇団
Photographer/瀧 忠之

筑波宇宙センターへ

三田22-5 H.H.

展示館以外にも宇宙飛行士養成棟も見学して来ました。この養成棟にある閉鎖環境適応訓練設備はガラス越しから見ても、その外見は決して大きくなく、更にはスペース内部見取図を見ても、その長期間の活動の困難さは容易に想像できました。そして追跡管制センターも見学しました。室内は何となくテレビで見たような風景で、ちょうど、お一人のセンター員の方が着席するところでした。この室内の時間はアメリカ時間に合わせてあるということでしたので、時差を勘案すると、ご出勤だったのかもしれませんが。その方が着席するに当たり、私達に振り返って会釈されたのがとても印象的でした。

展示館では三輪田会長が案内役として随伴して下さり、彼のJAXA時代を彷彿とさせて、会長としてもご尽力頂き、同期としても嬉しい限りでした。

(2025年7月25日実施)



波の響宴※音の世界のことなので「響宴」ではなく、あえて「響宴」と表現しました。 三田18-1 小関知子(山田)

南青山の瀟洒なビルの地下、スペインのタブラオを思わせる空間「MANDALA」でのライブだった。「波」をテーマに、様々な波の様相を、津賀寿さんの太棹三味線を中心とした音で表現。まず、『組打ちの段』から始まり、終章の『野崎の送り』まで古典の名曲を編んだ「波の組曲」。二部は『富嶽三十六景～神奈川沖浪裏～』を、笛、鳴り物との共演で。三部は、中能島欣一作曲の「波濤」を新しく人間国宝になられた善養寺恵介さんの尺八と太棹。

そして休憩を挟んでの大切りは『逆櫓の段』をたっぷり。水浅葱色の肩衣姿も凛々しい孝之資さんと津賀寿さん、お二人並んだ姿は「ザ・女流義太夫」。待ってました!と、声をかけたくなる艶やかさでした。「パースデーライブ」という特別な会で、チケットは早くに完売。ワカバ会の枠で入手できたのは本当にラッキーでした。ワカバ会に感謝!感謝!! です。



前列右が鶴澤津賀寿さん

(2025年8月12日実施)

『歴史を巡る旅』横須賀 ～裏道 脇道 浦賀道～

三田26-6 吉沢百合子(西田)

総会のホームカミングで再会した旧友に誘われて、ワカバ会の企画行事に初めて参加しました。9月とは思えない猛暑の1日でしたが、ゆったりとしたスケジュールを組んで下さっていたので、誰一人体調を崩すことなく歩き通しました。

江戸の昔から浦賀がいかに重要な場所であったか、よこすかシティガイドの方々の解説で知ることが出来ましたし、貴重な産業遺産である浦賀レンガドックでは、普段は入れないドックの底まで案内して頂き、巨大な船が建造・修理されていた頃の様子が目に浮かぶようでした。参加した皆さん、ガイドの方に直球・変化球の質問を投げかけ「さすがワカバ会!」と言って頂きましたよ。そして、少し歩き疲れた後の天ざるそばの美味しかった事!! 実に楽しい歴史散歩でした。ありがとうございました。次はあなたもいらっやしませんか?

(2025年9月2日実施)



24回生女子会を開きました 三田24-2 Y.E. (N)

6月29日(日)、24回生の女子会に46名が集まりました。

学校群制度3年目にあたるこの学年は、男子よりも女子が約100名多かった学年。気軽な会を開こうと、メールやLINEなどでつながりのある人にそれぞれが連絡するという今風口コミで参加を呼びかけました。

当日はたっぷり3時間、カジュアルなレストランで特に気張った進行もなく、互いに近況などを語り合いました。

これからも続けていきたいという声も多く、この記事を機に、まだ繋がっていない方はぜひご連絡ください。



卒業30周年 言葉にできない景色 三田47-6 坂下 至宝

9月6日、京王プラザホテルにて、先生方を含む約110名が参加する1995年卒の同窓会を初めて開催しました。

同窓会に向けてはさまざまな取り組みを行い、事前には自己紹介カードの作成や臨時新聞の発行、体験ヨガなどを実施。当日は校舎図画への書き込み、スライドショー、フォトスポット、クイズ、ダンスなど、盛りだくさんの企画で本当に素晴らしい時間となりました。なかでも「このころの熱いうちに」は、事前に動画配信を行ったうえで、当日は全員で合唱。最高の盛り上がりを見せました。会場に響く笑顔と笑い声は、まるで夏休み明けの賑やかさのようで、言葉にできないほど想像以上に素晴らしい景色を、みんなで分かち合うことができました。

みんな、最高だったね。これからもよろしく!



三田フィルハーモニーオーケストラ第33回定期演奏会に出演して 三田43-1 松尾 裕子

今年33回目となる定期演奏会は、5月25日にきゅりあん大ホールで開催されました。プログラムは第11回定期演奏会以来の再演となるベートーヴェン交響曲第5番「運命」、初挑戦となるオーケストラ版の「シャコンヌ」等、名曲揃いで、700人以上のお客様にご来場いただき大盛況でした。私はクラリネット奏者として、第1回目の演奏会から出演していますが、今回も、苦労しながら皆で一丸となり音楽を創り上げていく充実感、そして本番では、奏者だけではなく聴衆とも一体となる喜びや達成感を味わうことができました。

実は今期より、長年団長を務めていた河西氏(34-2)より引き継ぎ、団長を務めることになりました。就任して改めて感じたことは、共に活動する団員はもちろんのこと、多くの方々に支えられていることのありがたさです。応援して下さいのワカバ会の皆様にも心より感謝しております。来年の定期演奏会は、5月31日にめぐろパーシモンホールで開催予定です。次回も素晴らしい音楽をお届けできるよう皆で頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



撮影:藤本崇 木管セクションの皆様

Information

初夢チャリティーコンサート

新年をウィーンの音楽を堪能し素敵なコンサートが続けて26年目を迎えました。今回も美しい音色、暖かな人柄で多くのファンを得てきた山形由美さんを迎えて開催いたします。

日 時/2026年1月11日(日) 13:30~15:30

会 場/大田区民ホール アプリコ 大ホール(蒲田駅東口より徒歩3分)

ゲスト/山形 由美 東京都大田区出身、東京芸術大学卒業後英国留学を経て1986年にデビュー。

リサイタル、オーケストラとの共演等国内外で2000回公演。

公演やTV、ラジオを通してフルートの愛好者を増やした功績が高く評価。デビュー30周年に「Eternally~永遠のジゼル~」を発売(レコード芸術特選盤)。パリ公演では大成功を収めた。2022年に初めてのシャンソンアルバムを発表。Amazonで1位を獲得する。

問合せ/田中節子(宗近)(三田10-5)

三田フィルハーモニーオーケストラ第34回定期演奏会

2026年5月31日(日) 午後公演

会 場:めぐろパーシモンホール大ホール

指 揮:田中 健

曲 目:ブラームス/交響曲第1番 他

詳しくは
三田フィルHPを
ご覧ください



同窓生は今2025

奥村和矢さん(62-1)、平原聖也さん(62-5)

昨年の白珠祭、PTAの企画でサンドウィッチが販売されました。笹塚に本店を構える人気のサンドウィッチ屋さん、『eimy sandwich』のサンドウィッチです。あんバターサンドとクロックムッシュの美味しいこと！聞けば62回生の2人の卒業生が共同で始めたお店と言う。一人は多方面の業界で起業する奥村和矢さん(三田62-1)。もう一人は大森(大田区)で予約の取りづらいピストロのオーナーシェフ、平原聖也さん(三田62-5)。同期のお二人がどのような経緯でお店を開業するに至ったのか、お話を伺いました。



左から奥村さん、平原さん

ちょっとヤンチャな(?) 高校時代

—高校時代はどのように過ごしていましたか?—

奥村：三田を志望した理由はあまりなくて、偏差値で決めました。部活はフォークソング部でした。白珠祭とかイベント事には参加してました。でも、当時のフォークソング部は趣味でギターを弾いてる感じで、イベントがない時はおしゃべりしてたり。

授業はさぼり気味でした。授業さぼって部室でギター弾いたり、寝たり。遅刻も多いし、カラオケ寄ってから登校したり。こんなこと言っても大丈夫かな(笑)。

平原：僕も三田を選んだのは一番確実だったからで、女の子が可愛いっていうのも(笑)。母も卒業生なので。僕はソフトテニスでした。でも半分以上帰宅部でした(笑)。2年で理系クラスになったら男子ばかりで、部活に出ないでサイゼリヤばっか行っていました。

—お二人は高校の時から仲がよかったのですか?—

奥村：1年の時は同じクラスだったけど、理系と文系に分かれちゃったし。仲は良くも悪くもなく、って感じでした。

経験を積んだ20代前半

—卒業後の進路教えてください—

平原：進路は特に何も考えていなかったんです。センター入試を受けて、農大に行きました。楽に入れるところを選んじやいました。最初、専門学校に行きたかったんです。父が居酒屋をやっている影響で料理が好きだったんですね。でも反対されて、ちょっと料理と関係ありそうな農大に行くことにしました。

奥村：僕は大学には行っていません。行くならMARCH以上って思っていたんですが、行けないなら別にいいやって。

卒業後は1年くらいアルバイトしながらお笑い芸人を目指してたんです。高校の同級生とコンビを組んで。その後「お笑いなら大阪!」と思って2年間、大阪のテレビ局でADをしました。ただ、経営者の父の影響で、中学生の頃から経営に興味がありました。「親孝行は父親を超えること」と思っていたので、父親を超えることが目標でした。家族で食卓を囲んでいるとき、ニュースを見ながら父親がクイズを出してくるんです。それで自然と雑学や豆知識が身についた感じです。

平原：僕は家庭の事情で農大をほぼ1年で辞めてるんです。1年だと中退にすらならなくて、だから僕も最終学歴は高卒なんです。やることもない、お金もない、でも稼がなきゃということで、「スタッフ募集」の張り紙のあった自由が丘のレストランのドアをたたいて、次の日から社員になりました。こうなったら、いつか自分でお店を持つかないかなと思うようになりました。奥村じゃないけど「親父を超えたいな」っていうのもありました。

奥村：その後東京に帰ってきて、4年間一般職のサラリーマンをやっていました。その4年間で社内の経営などこっそり勉強してました。いつか起業したいと思っていたのでそのための準備って感じでした

平原：自由が丘のレストランでは1年はサービスやってその後はキッチン。先輩に料理を教えてもらって、だいぶ任されるようになってました。ホテルか星付きのレストランに就職したかったんですが、就職するためには専門学校卒の学歴が必要だったので、自由が丘で働きながらカフェの専門学校に通いました。3年くらい勤めた後、ホテルオークラに就職しました。オークラを選んだのは、そのとき募集していたのがオークラだけだったので(笑)。調理師・洋食・レストラン部門を志望して入りました。

奥村：24、25歳のころ、平原とはちょくちょくは会ってました。オークラでシェフをやっているのを知っていたので、平原の料理が食べてみたくて、イベントを企画し、料理人として参加してもらいました。

平原：そのイベントがきっかけにもなって、オークラに勤めながら、勤務のない日に、飲食店の休業日に店舗を借りて1日店長みたいなことをやって料理を振る舞ったりしてました。オークラには8年いました。オークラを辞めるきっかけは奥村です。こいつに辞めさせられました（笑）

最強タッグ結成！

—飲み仲間だった二人がお仕事でタッグを組むようになったのはどういう経緯だったんですか？—

平原：突然です。LINEで「平原、一緒に店やらない？」って。コロナ禍だったよね。

奥村：26歳でサラリーマンを辞め、2年間のフリーランス時代に知り合った人が出資してくれることになり…。「お金だから社長やってよ」と言われてたんです。出資者からカフェをやりたいという話が出たときに、お店を出したいと言っていた平原のことを思い出して、つなげたんです。

平原：話を聞いた時は怪しい誘いかと思った（笑）。僕も30くらいで独立したいと思っていたので、1年ならやる、といいました。開業準備、メニュー開発に携わるつもりでした。

—なぜサンドウィッチ屋さん？—

奥村：いろいろ案がでましたが、パンの専門学校の先生が知り合いだったので、洋食のプロとパンのプロでコラボれるのは何か、となったときにサンドウィッチにつながりました。そこでeimy sandwichが誕生しました。

—eimy sandwichに専念はしなかったのですか？—

平原：エイミーは1年間の約束だったので、2020年11月にオークラを退職し、エイミーやりながら自分のビストロの開店の準備をしてました。サンドウィッチを続ける気はありませんでした。サンドウィッチは直接お客さんのおいしいうる顔がみれないんです。できたてを提供して目の前で食べてもらいたいです。

奥村：エイミーが平原の開店の踏み台になればいいと思ってました。

平原：地元で開業したいと思って物件をさがし、2022年、農大時代のバイト仲間、ニューオータニで働いていた地元の友達と「bistro.tetete」の開店にこぎつけました。今はエイミーとは関係ないです。でも楽しかったです。勉強にもなりました。

奥村：エイミーは大成功だと思っていません。開店と閉店の繰り返しです。今は規模縮小傾向です。僕もエイミーの経営から抜けるつもりです。今はその後立ち上げた不動産と弟と一緒に立ち上げた映像制作の会社を運営していますが、ゆくゆくは税理士を目指しています。40代は税理士、50代は経営コンサルタント、60代で政界、なんてわからないですけど（笑）。

でも大学行ってないんで税理士試験受ける資格がないんですよ。FP1級とか受験資格を得るための勉強からです。大学さえ行っていれば。と思うこともありますが、目的なく大学に行くのは勿体ない。今だからこそ、大学に行きたいんだと思います。

まだまだ上を目指して

—今後のビジョンは？—

平原：今は拘束時間が長いのでやりたいことがあっても時間がとれないですね。やりたいことと言ったら、料理を出さない店をやってみたいですね。作らなくてもいいものを売る場所がほしいな。ワインとか。また奥村が何か提案してくれるんじゃないかと（笑）。

奥村：機会があればまた一緒にやりたいね。でも今は勉強中だから、無理かな。10年待ってくれる？

平原：うちもスタッフ増やして自分の時間もつくって、またチャレンジしたいね。

—インタビューを終えて—

お二人のお話を伺って、「夢ではなく、目標を持つ」というイチローの言葉を思い出しました。「夢」は憧れに終わってしまうけれど、「目標」は達成しなくてはいけない。そのための努力を惜しまないお二人の姿が眩しかったです。

「会報のインタビュー、本当に僕たちでいいんですか？」と謙虚に笑うお二人は、着実に目標達成に近づいている自信に溢れていました。学歴の壁を経験されても打開策を見だし、多様性の時代に対応しながらステップアップしていく「生き方」のお手本となるようなお二人でした。

また、こういう形で卒業生同士が協力できることこそ、「同窓会」の醍醐味だと思いました。100周年に向けてますますワカバ会が同窓生同士をつなぐ架け橋になればいいと思っています。

★奥村和矢さん（三田62-1）

株式会社食百景（eimy sandwich）取締役

株式会社819 代表取締役（不動産業）

OK4U合同会社 代表（映像制作会社）

★平原聖也さん（三田62-5）

bistro.tetete（大田区・大森）オーナーシェフ



eimy sandwich



bistro.tetete

私の近況

まだまだ続く私の人生

三田7-2 中島 久子(道正)



先日、ついに89歳になりました。幸い健康に恵まれ、大病もせずにごく普通の主婦として過ごして参りました。

5/18の総会にて 左より中島様、増田様、神崎様 この年になりますと物忘れが激しくなり、様々な事に難儀します。自分が色々忘れる事を注意される度悲しい気持ちにはなりますが、その様な状態の中、周囲の友達に恵まれ、ウォーキングの仲間、バレエ鑑賞や落語を楽しむ仲間、食事を楽しむ仲間と日々充実した時間を過ごしております。他麻雀、卓球も時々楽しみ、高齢者であるにもかかわらず、時間を持て余すことも無く楽しく生活しています。その友達の中に三田高校で出会った友達も含まれております。

私が忘れる事で迷惑を掛けているにも関わらず一緒にいてくれる友達は宝物です。

現在、一匹の猫と一緒に暮らし、時々娘達にあれこれ注意されながらも幸せに生きております。皆様も幸せで楽しい人生をお送りくださいませ。

ジャイアンとジャイコ

三田17-5 T.S. (I)



ジャイアンとジャイコ

早いもので、来年80歳を迎えます。戦争を知らない世代として平和な日本で80年近く生活できたことはほんとに幸せなことです。

世界には、いまなお戦下で苦しむ人が数多くいることが悲しいです。団塊の世代である私たちは、戦後の復興、好景気、不景気、少子化等々いろいろな経験をしてきました。現在は老いにどう向き合い、納得のいく人生を送るかが課題です。胸を弾ませ通学した高校時代から、大学、そして就職、結婚、出産、子育てに夢中でした。退職を機に、手に入れた時間は、母や姉夫婦の介護が待っていました。そんな中我が家に出没する野良ネコちゃんが気になりました。餌を求めて必死で生きようとする姿に何とか応援したくなり、これ以上不幸せな猫を増やさない手だてをして、寿命を全うしてほしいと願いました。それが高じ、いつの間にか我が家は立派な猫屋敷になってしまいました。日々感じるストレスを優しい目で吸い取ってくれる9匹の猫たちに癒される毎日です。

青天の霹靂

三田27-6 桜井 考二



2024年1月、松山市の八坂寺で

ただ歩いてみたいからと、2年前に四国のお遍路を始めました。作法も何も分からなかったのが最初は(数回に分けて行くことにした)、巡拝バスツアーを使いました。ありがたいことにバスにはお遍路100回以上という大変な先達が同乗してくれ、道中、自分の体験をいろいろ話してくれてとても勉強になりましたが…。大先達は旅館の夕食で「ご飯が冷たい」とブツブツ。「お遍路は何事も修行と心得て、愚痴を慎む」と聞いていたので、意外な気がしました。翌朝お参りした時のこと。その先達は読経を終え、本堂の階段を降りようとして足を踏み外し、脇の柱の角に頭をゴツツン。額から血を流している先達を見てこちらは「むむつ、弘法大師さんはやっぱり見ていたのだな」と直観しました。私は昨年12月、無事結願を果たしましたが、旅は終わらず。気を引き締めて2回目のお遍路に挑戦しようと思っています。

PPKを目指して

三田37-3 齊藤 緑(望月)



箱根にて

「直前まで病気に苦しむことなく元気に長生きしてコロリと死ぬこと」ピンピンコロリ(PPK)が理想ですね。介護の資格を取る時に学びました。今は主に精神障害の方の訪問介護をしています。心身共に健康でないといけないと実感します。

2年前に義母の介護も終わり、体を鍛えようと区のスポートセンターに通い、自己流でマシンを使っていたら膝を痛めてしまい、結局、整体と個別指導ジムに通うことになり高くついてしまいました。でもそのおかげで調子良く過ごせるので、今後も続けたいと思います。

時間があるとおしゃれなカフェにいたり、デパ地下でスイーツ買ったり、演劇を観たりしてます。最近はアニメにもハマってます。

人生100年時代、脳トレしたり、楽しみを見つけながら元気に過ごそうと思います。

私の近況

大学芋ソーシャルワーカー

三田47-1 生駒 友一



家業の大学芋屋を継ぎ、大田区馬込で仕事をする傍ら、2014年12月より保護司を拝命し、現在11年目になります。保護司は、犯罪や非行

に問われた人の更生を地域で支える民間ボランティア（非常勤の国家公務員）です。きっかけは保護司のなり手が少ないことから、所属する社会福祉士会を通じて地元の保護司の方にお誘いいただいたことでした。ボランティアなので仕事に従事しながら、社会福祉士の資格を活かせることもあり、二つ返事で引き受けました。保護観察の対象者とは原則月2回面接して、仕事や学業、家族や友人との関係、健康状態や余暇の過ごし方など生活面の色々なこととお話します。年齢や性別、来歴も様々な方との交流の場面です。これまで生きてきた中で培ってきた知見だけでは十分に対応ができないため、社会情勢や社会構造から想像力を働かせ、何よりクライアントに教わりながら伴走する日々です。

綱の手引坂から続く道

三田57-3
石井 悠加



筆者右 早春の眉山ロープウェイにて

三田高の皆さま、お元気ですか。私は五年前に徳島に移住し、大学で古典文学を教えています。来年二月に

初の著書を刊行する予定で、教育と研究で忙しい毎日を送っています。

昨年の春、高校時代からの友人のK.W.さんが、はるばる東京から遊びに来てくれました。Wさんとはもう二十年來の付き合いです。うずしお観潮船に乗り、鳴門の大塚国際美術館でランチをし、「万葉集」にも詠まれた阿波の名山「眉山（びざん）」に登り、久しぶりのおしゃべりの楽しさ。あつという間に時間が経ちました。とてもうれしい思い出です。

校門前の「綱の手引坂」を友人たちと行き通っていたなつかしいあの日々から早二十年。変わったこと、変わらないことをしみじみと感じつつ、続いているご縁があることのありがたさを噛みしめています。

私の近況

三田67-3 町田 耀一



千葉県にある法律事務所である佐野総合法律事務所にて弁護士をしています。

いわゆるマチベンとして、離婚事件、相続事件から債権回収事件、事務所の顧問先の相談など、幅広い分野でご相談を受けています。

忙しいですが日々発見があり、また工夫の積み重ねで事件を解決に導くことにやりがいを感じています。

私が高校生の頃は、弁護士になることも、千葉に住むことも、全く想像していませんでした。でも、今は千葉の弁護士という今の自分になんだかすごくしっくりきています。

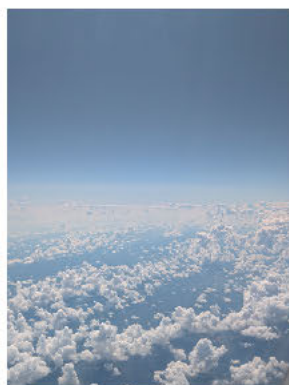
千葉には大都市にはない、地域に密着した温かさや、一人ひとりの依頼者にじっくりと向き合える環境があります。

弁護士は、人生の大きなお悩みに相談者と一緒に考え、解決を目指す仕事だと思っています。大きな悩みに直面したとき、思い出してもらえ、相談しようと思える弁護士、一人ひとりの依頼者にじっくりと向き合い、一緒に悩む弁護士を目指して今後も頑張っていきます。

事務所 千葉市中央区中央4-17-3袖ヶ浦ビル6階
佐野総合法律事務所 弁護士 町田耀一
会員番号 61775 電話番号 043-239-6519(直通)

素敵な新生活

三田77-5 K.K.



待ちに待った大学生としての日常が始まって、大変だけれども充実した楽しい毎日を送っています。せっかくなら色々チャレンジしてみようと思って、高校では文化部でしたがダンス部に入ってみました。手法は関係なく、なにかを表現することが自分は好きなのだのと部活動を通して再認識しています。もう

ひとつ、神社や古事記などを通して日本について再考するサークルにも入っているのですが、自国のことなのに全然知らない事ばかりで勉強になって、こちらも面白いです。

そして今私は、専攻語であるポーランド語の語学研修を受けるために乗っている飛行機の上でこの文章を書いています。乗る前から何点かやらかしてる事が判明してちょっと幸先悪いですけど、きっと生きてさえいけばなんとかなるので!これからもこの精神で興味のあることに積極的に挑戦して、素敵な大学生活を過ごしたいと思います。

2024年度 理事会報告



第1回(2024.4.25 18:00~19:15)

各委員会報告、2023年度決算及び事業報告について、2024年度総会について、
画家成田禎介氏(三田9回生)の絵画寄贈について

第2回(2024.6.16 18:00~19:00)

各委員会報告、2024年度総会報告について、2023年度奨学生決定について

第3回(2024.9.18 18:00~19:30)

各委員会報告、画家成田禎介氏(三田9回生)の絵画寄贈について、ワカバ会創立100周年実行委員会開設について、
会報印刷代金の半金前払いについて

第4回(2024.11.20 18:00~19:45)

各委員会報告、理事・監事改選(2025年度)に伴う新理事候補検討について、創立100周年事業スケジュールについて

第5回(2025.1.22 17:30~18:45)

各委員会報告、2025年度総会日程について、2024年度奨学金(丸山・桂葉)募集要項(案)について、
2025年度企画行事(案)について、創立100周年記念事情スケジュールについて、鶯の木銀杏の木剪定前の
落ち葉清掃について

第6回(2025.3.19 18:00~20:15)

各委員会報告、2025年度予算および事業計画について、ワカバ会創立100周年記念総会スケジュールについて、
会報わかば97号印刷業者前払いについて

委員会報告

総務委員会

①本年度ワカバ会総会は、5月18日(日)母校にて対面開催となりました。ホームカミング該当学年の方も多数参加していただき、総会、懇親会とも無事執り行うことができました。

②今年度も丸山記念奨学生、桂葉奨学生を募集し、選考委員会において協議の上決定しました。

③2017年9月よりトランクルーム事業者へ大田区鶯の木の土地(旧駐車場)を賃貸しています。

委員長 西上原節子(24-5)
平山 孔嗣(29-2)
青山 真司(30-3)
嶺 直利(35-3)
市来陽一郎(39-4)
鈴木 俊(47-3)

IT委員会

IT委員会では、ワカバ会の情報システム全般を担当しています。2025年10月のWindows10サポート期限を前に、事務局のPCをWindows11にアップデートしました。今後もセキュリティを確保しつつ、会員の利便性を高める施策を進めていきます。

また、ワカバ会ではホームページのほかにInstagram(インスタグラム)での情報発信を行っています。ぜひともフォローをお願いします。

委員長 小針 淳(40-3)
田中 浩(32-5)
諏訪 貴子(42-7)

広報委員会

本年度も、わかば97、98号を発行しました。今回は、活躍している若い世代のインタビューも行いました。

委員長 田中 浩(32-5)
采澤あさひ(58-7)

会計委員会

会計委員会は、ワカバ会の財務会計業務全般を担当しております。日頃、維持会費の納入に際しましては格別のご協力をいただき感謝申し上げます。

2万名からのワカバ会会員の皆様への広報、親睦、公益活動及び丸山記念奨学金、桂葉奨学金をはじめとする三田高校への貢献等の財政基礎として、皆様からの維持会費、新入会員からの入会金は土地賃貸収入と共に柱となっております。現在は新卒業生全員入会から任意の入会となり、入会金も2,000円に減額しておりますが全員参加には程遠く、ますます維持会費の重要性が高まってきております。納付方法の利便性が高まるよう引き続き努力してまいります。

諸物価高騰の折、経費を節約するのは容易ではありませんが、100周年に向け、具体的な動きも始まってまいりました。新しい事業も充実させ、ワカバ会発足以来の「卒業生は母校とともに発展する」を実現できる会務を遂行するため努力いたします。一層のご協力ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

委員長 平山 孔嗣(29-2)
片山 優子(19-2)
上田みづ子(28-5)
吉寄 文保(58-6)

企画委員会

企画委員会では毎年多様な行事を企画・実施しており、お蔭様で幅広い層の会員の方から大変好評をいただいております。コロナ禍で実施を見送っていた行事もほぼ復活し、今年度も多くの行事を企画しました。

- 1) 第35回ワカバ会観劇会 宝塚歌劇団 星組公演
2025年7月18日(金)
 - 2) 第16回筑波宇宙センター見学会 2025年7月25日(金)
 - 3) 第3回女流義太夫ライブ 2025年8月12日(火)
 - 4) 第7回歴史を巡る旅 横須賀散策 2025年9月2日(火)
 - 5) 第22回同窓会ギャラリー HP上での開催
2025年9月16日(火)~9月25日(木)
 - 6) 第36回ワカバ会観劇会「ハリーポッターと呪いの子」
2025年9月12日(金)
 - 7) 第11回東京ステーションホテル見学会&ランチ
2025年9月26日(金)
 - 8) New! いさわさきひろ美術館・東京 見学会
2025年10月3日(金)
 - 9) 第37回ワカバ会観劇会
前進座公演「笑いごとではありませぬ」
2025年10月4日(土)
 - 10) 第38回ワカバ会観劇会 明治座「大逆転! 戦国武将 将軍 戦国カニノリ」 2025年10月13日(祝)
 - 11) 第42回親睦ゴルフ会 2025年10月16日(木)
 - 12) 第8回東海道を歩こう(大磯〜二宮)
2025年10月30日(木)
 - 13) 第3回バンド&ボーカルジャズコンサート2025
2025年11月8日(土)予定
 - 14) 第8回迎賓館赤坂離宮見学会
2025年12月5日(金)予定
 - 15) 第39回ワカバ会観劇会「新春浅草歌舞伎」
2026年1月16日(金)予定
 - 16) 第12回オペラ鑑賞会「妖精ウィットリ&カヴァレリア・ルスティカーナ」 2026年1月31日(土)予定
 - 17) 第41回ワカバ会観劇会 宝塚歌劇団 雪組公演
2026年2月13日(金)予定
 - 18) 第8回ちよだ芸術祭グランドフィナーレ
2026年3月1日(日)予定
 - 19) 第40回ワカバ会観劇会 劇団四季「バックトゥザフューチャー」 2026年3月28日(土)予定
- 委員長 志田 雄啓(46-1)
内堀りえ子(24-1)

2025年度収支予算

自2025年4月1日至2026年3月31日

(単位：円)

科 目	2024年度予算額	2024年度決算額	2025年度予算額	備 考
収入の部				
1.財産運用収入				
財 産 利 息 収 入	2,000	9,504	3,000	
2.会費・入金会金収入				
入 会 金 収 入	300,000	198,000	300,000	入会者減
維 持 会 費 収 入	6,500,000	6,634,000	6,600,000	
3.事業収入				
総 会 費 収 入	300,000	417,000	400,000	
商 品 売 上 収 入	200,000	222,063	200,000	
土 地 賃 貸 収 入	8,184,000	8,455,941	8,200,000	
4.寄付金収入				
寄 付 金 収 入	0	558,385	0	
5.雑収入				
雑 収 入	0	48,355	0	
6.繰入金収入				
公益目的支出準備金繰入金収入	5,200,000	4,000,000	5,000,000	
当期収入合計 (A)	20,686,000	20,543,248	20,703,000	
前期繰越収支差額	925,382	925,382	1,031,680	
収入合計 (B)	21,611,382	21,468,630	21,734,680	
支出の部				
1.事業費				
総 会 報 会 行 費	1,600,000	1,753,500	1,800,000	
行 記 念 事 業 費	5,750,000	5,061,734	5,300,000	
商 品 企 画 費	200,000	140,288	160,000	
奨 学 金 支 出	720,000	0	1,200,000	100周年準備
土 地 賃 貸 直 接 事 業 費	160,000	50,215	60,000	
給 与 交 手 業 費	1,460,000	1,700,000	1,460,000	
旅 費 交 通 費	3,000,000	3,634,840	3,800,000	
通 耗 品 費	3,500,000	3,791,318	3,500,000	
信 運 搬 費	56,000	50,763	56,000	
印 刷 製 本 費	406,000	405,115	385,000	
会 費 報 微 管 理 費	84,000	107,211	84,000	
情 報 管 議 熱 公 課	182,000	177,594	168,000	
公 租 公 費	140,000	123,816	126,000	
雑 渉 外 費	35,000	19,617	21,000	
給 与 交 手 業 費	420,000	379,922	336,000	
旅 費 交 通 費	315,000	221,722	210,000	
通 耗 品 費	70,000	49,358	56,000	
信 運 搬 費	10,000	0	0	
印 刷 製 本 費	105,000	341,027	210,000	
会 費 報 微 管 理 費	40,000	0	0	
情 報 管 議 熱 公 課				
公 租 公 費				
雑 渉 外 費				
2.管理費				
給 与 交 手 業 費	1,500,000	1,624,850	1,500,000	
旅 費 交 通 費	24,000	21,756	24,000	
通 耗 品 費	174,000	173,621	165,000	
信 運 搬 費	36,000	45,947	36,000	
印 刷 製 本 費	78,000	76,111	72,000	
会 費 報 微 管 理 費	60,000	53,064	54,000	
情 報 管 議 熱 公 課	15,000	8,407	9,000	
公 租 公 費	180,000	162,824	144,000	
雑 渉 外 費	135,000	95,023	90,000	
給 与 交 手 業 費	30,000	21,153	24,000	
旅 費 交 通 費	0	0	0	
通 耗 品 費	45,000	146,154	90,000	
信 運 搬 費	0	0	0	
印 刷 製 本 費				
会 費 報 微 管 理 費				
情 報 管 議 熱 公 課				
公 租 公 費				
雑 渉 外 費				
3.固定資産取得支出				
什 器 備 品 費	200,000	0	200,000	
4.目的預金積立支出				
記 念 事 業 積 立 金 繰 入	0	0	0	
5.予備費支出				
予 備 費	100,000	0	100,000	
当期支出合計 (C)	20,830,000	20,436,950	21,440,000	
当期収支差額 (A)-(C)	-144,000	106,298	-737,000	
当期繰越収支差額(B)-(C)	781,382	1,031,680	294,680	

ワカバ会丸山記念奨学金は10名、桂葉奨学金は2団体と個人2名に給付

三田高校在校生への2つの奨学金制度「ワカバ会丸山記念奨学金」と「桂葉奨学金」は一般社団法人ワカバ会の主要な公益事業です。

「ワカバ会丸山記念奨学金」は6月の理事会で2025年度の奨学生10名を決定しました。7月に半年分(6万円)を本人に手渡しました。今年度は8名募集したところ、応募者は12名でした。奨学金委員会で、本人の応募理由、担任の先生の推薦文を審査した結果、1年生6名、2年生2名、3年生2名の10名を奨学生に選びました。ワカバ会会員から奨学金用に寄せられたご寄付により当初予算より2名多く給付することができました。

第5代校長百田次朗先生のご遺族からのご寄付で設立した夢サポート「桂葉奨学金」は受験、留学、部活、研究等、幅広い分野を対象とし夢実現を支援するための制度です。今年度は2団体、個人4名の応募があり、願書には各志願者の熱い気持ちが込められていました。奨学金委員会で慎重に審査し、同じく6月の理事会で吹奏楽部、ダンス部と個人2名に決定しました。給付額は内容に応じて配分しました。桂葉奨学生の成果報告は次号会報に掲載の予定です。

ワカバ会100周年に向けて100周年記念事業にご協力ください!

2028年ワカバ会は100周年を迎えます。

これを記念し、ワカバ会では記念事業やイベントの企画を進めております。

- ・100周年イベントの企画
- ・記念式典の運営スタッフ
- ・記念誌制作、記念映像制作
- ・SNSを使ったPR方法のアドバイス
- ・式典当日の会場スタッフ など を募集しています。

あなたの「高校時代に一番印象に残っていること」は何ですか?

前号(97号)に引き続き、「高校時代に一番印象に残っていること」を大募集します。

- ☆部活のこと
- ☆白珠祭のこと
- ☆体育祭のこと
- ☆修学旅行や遠足のこと
- ☆球技大会、水泳大会のこと
- ☆気になるあの子のこと
- ☆名物先生のこと
- ☆つらかった授業のこと
- ☆寄り道したあのお店のあのメニュー

なんでも構いません。長い文章でなくてもいいんです。ひと言で構いません。

同期会で盛り上がった話があったら...ふっと思い出した話があったら...

すぐにこのQRコードを読み込んで、Googleフォームに入力して送信してください。

ご提供いただける写真がありましたら添付してください。(被写体の方には予めご了承をください。)

メールやFAXでも受け付けています。

匿名でもOKです。



100周年に向けて

部活の思い出を年代を越えて語り合いませんか。

座談会希望の部、OB会開催予定がある部がありましたらご連絡ください。

記念誌の内容の1つとして企画しています。

この記念行事を、卒業生・在校生・関係者の皆様とともに盛大に祝い、次の世代へとつなぐ機会にしましょう!

ご協力お願いいたします。

総会で歌おう! 参加者大募集!

2028年の100周年に向けて機運を高めていくために、来年の2026年度総会で皆様の歌声



を披露しませんか。声楽家・志田雄啓理事(46-1)の指導のもと、曲は、校歌、「心の熱いうちに」、第九より「飲びの歌」等を予定しています。経験は問いません。志田理事による事前レッスンも予定されています。心をひとつにしてワカバ会100周年を盛り上げていきましょう! 興味のある方はワカバ会事務局までご連絡ください。

学校 だより

三田高校 副校長 小林成行

秋風に涼しさを覚える頃となりました。同窓生の皆さまにおかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

この9月、白珠祭を開催し、在校生たちが力を合わせて準備した催しを披露いたしました。校内に笑顔と活気があふれる様子は、まさに皆さまが在学中に感じられた雰囲気と変わらず、白珠祭が本校の大切な伝統として受け継がれていることを実感いたしました。

今年のテーマは「三田万博」。各クラスや団体が、まるで博覧会のパビリオンのように個性豊かな展示を工夫しました。特に3年生のブースは、高校生活最後の舞台にふさわしく、発想のユニークさや来場者を楽しませる仕掛けが秀逸で、多くの人を引き込んでいました。その熱意と完成度の高さは、皆さまの時代にもあった「3年生の底力」を思い起こさせるものでした。また、文化部の発表も充実し、美術や写真作品の展示や音楽・演劇の発表など、それぞれの部が日頃の努力を堂々と示す姿に、多くの来場者が感心していました。

白珠祭を終えた生徒たちは、次の目標に向かって歩みを進めています。こうして代々の生徒が同じ校舎で笑い、汗を流しながら白珠祭をつくり上げてきた歴史こそ、母校の誇りであり力であると改めて感じます。同窓生の皆さまには、これからも変わらぬご支援と温かいまなざしを賜りますようお願い申し上げます。

2024年度維持会費納入者

前号（97号）にて2024年度維持会費を納入いただいた方のリストを掲載いたしました。が校了日の関係で、2024年3月16日以降に納入くださった方の氏名を掲載することができませんでした。改めてここに掲載させていただきます。ご協力ありがとうございました。（敬称略）

会員専用ページにて閲覧できます

●維持会費の納入にご協力ください!!

会員専用ページにて閲覧できます

逝去者一覧

会員専用ページにて閲覧できます

ご寄付御礼

会員専用ページにて閲覧できます

事務局だより



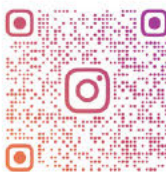
ワカバ会
プライバシー
ポリシー

- 98号の表紙も秋山具義さん(三田37-4)のデザインです。3Dっぽい新しい感じがします。秋山さんはアートディレクターとしてだけでなく、グルメ著名人としても活動されています。
- ワカバ会ではプライバシーポリシーを定めております。ホームページに掲載しておりますのでQRコードよりアクセスしご確認ください。
- 同期会・クラス会のための名簿・宛名ラベルを幹事の方にのみ、有料で提供しております。当会所定の申込書に幹事2名の氏名・連絡先、開催日、同期会・クラス会開催目的以外に名簿を使用しない旨の誓約を記入し提出していただきます。
- 同期会・クラス会の幹事への情報提供または会報(維持会費納入者リスト)への氏名掲載を希望されない場合にはその旨をワカバ会事務局までご連絡ください。速やかに対応させていただきます。
- ホームページに「同期会のお知らせ」のコーナーを作りました。お知らせご希望の方は事務局までご連絡ください。

Instagramを開設しました。

QRコードよりアクセスしフォローをお願いします。

◆ワカバ会 Instagram



編集後記

今回のわかばのインタビュー記事は、一際印象的でした。色々な道を模索しながら前を向いて進んで行く姿は、先輩にも後輩にも、刺激を与えてくれたのではないのでしょうか。皆さんの色々な姿をこれからも伝えていきたいと改めて感じました。(HT)



三田高卒業生でワカバ会事務局に勤務してくださる方を募集します。お気軽にお問い合わせください。

【勤務条件】

- ・週2〜3日(月曜〜木曜)
- ・勤務時間 10時〜16時(稀に時間外あり)
- ・原則として高校45回生以降
- ・パソコンのできる方
- ・時給1,250円(半年間試用期間・交通費実費支給)

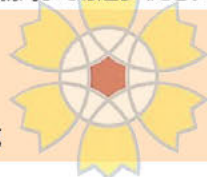
応募の方は11月末日までに履歴書をワカバ会事務局までお送りください。

問合せ先

ワカバ会事務局

TEL 03-3451-0227

E-mail t-mita@wakaba-kai.org



ホームページでの会報閲覧について

会報はホームページでも閲覧可能となっておりますが、一部個人情報に掲載された記事につきましてはパスワードの入力が必要となっています。

ホームページのトップページ「会員専用」のアイコンをクリックし、閲覧用パスワード を入力して閲覧してください。このパスワードはワカバ会員以外には口外なさらないよう、ご協力をお願いいたします。

ワカバ会オリジナルグッズ

お申し込みは、電話・FAX・E-mailにて、事務局まで

※柄、色によって在庫がないものもあります。ワカバ会までお問合せください。

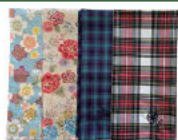


★裏返っても元通り!!

耐風折傘

大判65cm・
グラスファイバー骨
各950円

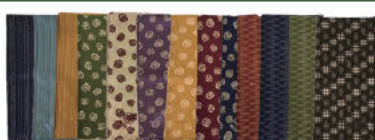
校章ストラップ
(黄色、シルバー、
ブロンズ)
各600円



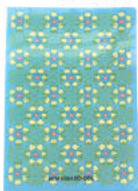
バンダナ
和柄とチェック
各700円



バンダナ兎柄
各700円



バンダナ 各700円



なでしこ
クリアファイル
100円



ナチュラル
リネンマフラー
各1,500円

ミニタオル
ハンカチ
各400円

タオル
マフラー
各900円



ハローキティ
根付
650円
(寄付込1,000円)



3色4芯
ボールペン
200円

メタル
ボール
ペン
各200円

NEW
シャープペン
各200円

レターセット
各150円
一筆箋 各100円
クリアファイル
各50円



会報わかば98号

府立第六高等女学校・都立三田高等学校同窓会
一般社団法人ワカバ会

〒108-0073 東京都港区三田1-4-46

TEL: 03-3451-0227 FAX: 03-3452-4590

時間: 午前10時〜午後4時 休日: 金曜・土曜・日曜・祝祭日

E-mail: t-mita@wakaba-kai.org HP: www.wakaba-kai.org/

表紙デザイン / 秋山具義(三田37-4)

紙面構成 / 一色秀司(三田35-3)



◆ワカバ会ホームページ ◆ワカバ会 X (旧Twitter)



◆ワカバ会 Instagram

ワカバ会

検索